

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年11月09日

計画の名称	四日市港地区における高潮対策事業の推進(防災・安全)												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	四日市港管理組合												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化していく海岸保全施設の機能の回復を図り、人命・資産を防護する。 ・海岸保全施設の整備計画により、高潮及び津波等に対して海岸保全施設の整備を行い、人命・財産を防護する。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,688	A	2,688	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	海岸保全施設の老朽化状況を適切に把握し、今後の維持管理に関する負担を平準化させる。 四日市港海岸における老朽化調査の割合 (調査を実施した面積の割合) = (調査を完了した面積) / (調査が必要な施設面積)	79%	%	100%
2	富田港地区において高潮等による浸水被害を解消する。 富田港地区における整備完了した施設延長の割合 (整備完了した施設延長の割合) = (整備完了した施設延長) / (全体計画延長)	34%	%	97%
3	1号地地区において、南海トラフ地震による津波及び地震動に対する耐震補強を実施する。 1号地地区における整備完了した施設延長の割合 (整備完了した施設延長の割合) = (整備完了した施設延長) / (全体計画延長)	0%	%	30%
4	海岸保全施設の老朽化状況を適切に把握し、今後の維持管理に関する負担を平準化させる。 H27~H31年度までに改良及び補修が完了する四日市港海岸における老朽化対策の割合 (改良及び補修済みの海岸延長の割合) = (改良及び補修を完了した施設延長) / (改良及び補修が必要な施設延長)	0%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
・三重県国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業A09-002														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	一般	四日市港 管理組合	直接	四日市港管 理組合	老朽化	-	四日市港海岸堤防等老朽 化対策緊急事業	長寿命化計画策定 1式	四日市市						126	-	
	A09-002	海岸	一般	四日市港 管理組合	直接	四日市港管 理組合	高潮	-	四日市港海岸高潮対策事 業(富田港地区・1号地地 区)	護岸補強工 L=2,691m、樋門 (改良) N=1式	四日市市						2,502	32.2	
	A09-003	海岸	一般	四日市港 管理組合	直接	四日市港管 理組合	老朽化	-	四日市港海岸堤防等老朽 化対策緊急事業	老朽化対策 L=18.4km	四日市市						60	策定済	
												小計						2,688	
												合計						2,688	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 四日市港管理組合において実施	事後評価の実施時期 事業終了後、令和5年10月
	公表の方法 四日市港管理組合のホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	海岸保全施設の老朽化対策について大部分が完了した。 富田港地区における整備について施設延長割合にして約50パーセントが完了し、高潮等による浸水被害の解消に寄与した。 1号地地区における整備について施設延長割合にして約10パーセントが完了し、津波及び地震動に対する耐震補強に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き海岸高潮対策事業の進捗を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	目標通り実施完了。
	最終実績値	100%	
2	最終目標値	97%	関係者との協議に想定外の期間を要したことによる。
	最終実績値	50%	
3	最終目標値	30%	関係者との協議に想定外の期間を要したことによる。
	最終実績値	10%	
4	最終目標値	60%	当初想定より対策に緊急を要する箇所があり、優先して対策を実施したため。
	最終実績値	95%	